

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月～令和3年10月
------------------	-----	----------------

1. 初期支援（はじめのかかり）	メンバー	工藤・一戸・對馬・沓澤・山田・三上・今井 阿部・大場・三浦・郷木・長尾
------------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	5人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確実性のある方法で落ち着いて情報の把握が出来るよう、情報共有の方法の見直しを行う。
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用開始前に、書面又はミーティングにて支援内容を確認し情報共有が出来ていたが、日々変化する情報が多岐に渡る為情報の管理、支援の実施が不十分な事が多かった。 ・ 主体的に情報管理に努める職員と受け身に回る職員間で、情報量や支援方法の差がみられた。
------------------	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	7	3	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	10	2	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	0	8	4	0	12
④	本人をささえるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	7	4	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用開始前に知り得た情報は口頭での申し送り、又は書面にて情報共有が出来ていた。 ・ 時間に余裕が有る時は、利用者様の話を聞くようにしていた。 ・ 朝夕2回の申し送りは確実に出来ており、支援に繋げていた。 ・ ご家族様との会話の機会を通じて情報を取得し、支援に繋げるよう努めた。 ・ 声掛けの仕方に気を付け、自尊心を傷つけないような介護が出来ていた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 繁忙により、利用者様の意思確認や思いを聞く事に時間を割けず、又自身の気持ちの余裕も無かった。 ・ 申し送り時に利用者様の対応をしていると情報を把握出来なくなった。又、その後再度情報を確認する時間がなく、目の前の業務に追われてしまった。 ・ 限られた時間内で多くの情報を伝える為の工夫(簡潔にまとめる事等)が出来なかった。 ・ 申し送りが徹底されていなかった。 ・ 利用者様、ご家族様が何を必要としているか理解出来ていなかった為、適切な支援が出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 申し送りによる情報伝達の精度を上げていく。 ・ 業務の簡素化等の見直しを行い、適切な支援の実施を行う環境を整える。 ・ 職員のメンタルヘルスにも配慮し、支援に集中出来る職場環境を整える。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月～令和3年10月
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	工藤・一戸・對馬・沓澤・山田・三上・今井 阿部・大場・三浦・郷木・長尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	5人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・関わる時間の中で、目標を意識した対応・対話をし、それらの要点を記録に残す。 ・記録に基づき、課題の達成度を判断し、定期的に目標や課題の見直しを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にミーティングを実施し、記録に残す事が出来た。 ・利用者様の思いを汲み取ろうという意識を持って、支援するようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	6	5	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	6	5	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	4	7	0	12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に行かせていますか？	1	6	5	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を意識した会話を通して利用者様の思いを聞き出し、記録に残す事を意識し実行出来た。 ・ミーティングでは自分の意見を言う事が出来ている。 ・目標に向けての課題の達成具合を記録に残す事が出来ていた。 ・利用者様が今、何をしたいのかを考えて支援するようにしていた。 ・利用者様のしたいご事を聞き出し、モニタリング表、申し送り時に提言出来た。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人の目標を毎回、把握する事は出来なかった。 ・目標や課題の方向性に迷いが出る事がある。 ・その日の自分の業務をこなすのが精一杯で、余裕がなくほとんど出来ていない。 ・他愛のない日常会話から情報を引き出すのが苦手だった。 ・利用者様がどう過ごす事が良い事で、どのような活動を提供すれば良いのか分からなかった。 ・ミーティングが実施されても、その後の振り返りが来ていない事があった。 ・全ての利用者様のしたい事に耳を傾ける事が出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の目標や課題を把握する。 ・業務繁忙を理由にせず、利用者様と向き合う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月～令和3年10月

3. 日常生活の支援

メンバー 工藤・一戸・對馬・沓澤・山田・三上・今井
阿部・大場・三浦・郷木・長尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	4人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予期せぬ事態にも冷静に対応できるように、余裕をもった業務計画、対応を行う。 ・ 利用者との会話の中で得た重要な情報は個人で把握するだけでなく、記録等で全体で共有する。 ・ 空き時間を利用し、介護技術の共有や勉強会の実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者様との会話は出来ていたが、それらを記録に残しきる事が不十分であった。また残された記録を把握する事も不十分だった。 ・ 業務量が多く、計画的に取り組む事が出来なかった職員の方が多かった。 ・ 空き時間を作る事自体が困難だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	3	7	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	7	2	1	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	7	4	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	5	3	1	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	7	3	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の変化に気づいた時は、職員間で共有出来るように発言している。必要時は看護師の指示を仰いだ。 ・ 家族からの情報や本人の訴えを記録に残す事で共有し、状態観察をする事が出来た。 ・ 基礎的な介助は出来ている。又、状況に合わせた支援も出来ていた。 ・ 業務は計画的に行っており、余裕を持っている。 ・ 経験や知識を他職員へ伝える為、資料を作成したり、時間を設けている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言後に職員間でどのような取り組みをしたのか、報告、評価等の確認が不十分だった。 ・ 個々の情報量が多く、以前の暮らしを10個以上把握するのは出来なかった。 ・ 介護技術不足で時間が足りなくなり、余裕がなくなる事があった。いつも不安がある。 ・ 以前よりは計画的に業務を行う事が出来たが、突発的な事態が発生すると余裕がなくなった。 ・ 業務全体を把握する事が出来ていない為、繁忙を理由にし記録が不十分な事が多かった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護技術習得に向けた計画を作り、空き時間ではなく業務計画に入れる。 ・ 利用者様の基本情報は必ず把握する。 ・ 会話により得られた情報を記録に残す事を徹底する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月～令和3年10月
------------------	-----	----------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	工藤・一戸・對馬・沓澤・山田・三上・今井 阿部・大場・三浦・郷木・長尾
---------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	4人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員について、役割、活動内容等の理解を深める場を早急にする。 ・送迎時等で家族と対面した際には、利用者様の事業所での様子を伝えるなどコミュニケーションをとり、伝えあやすい関係を築く。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との関わりがなく、理解は乏しい。送迎時は出来る範囲で家族とコミュニケーションを図っていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	3	6	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れがないように支援していますか？	1	6	3	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	5	6	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	1	7	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族とは訪問、電話、手帳を通してコミュニケーションをとる事が出来ていた。 ・人間関係を理解し、トラブルにならないう支援出来ていた。 ・送迎時に家族からのニーズを聞き、施設での様子を伝えるようにした。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であり、地域との接点が少なく、地域資源の活用が進まなかった。 ・困難事例があってから、民生委員とのやり取りが発生する為、関わりは希薄となっている。 ・家族が地域の介入を望まない事があった。 ・利用者様の様子を注意深く観察していなかった事もあり、家族へ伝える情報が乏しかった。 ・送迎時も時間が限られており、挨拶のみで終わる事が多かった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源との関わりを持つ機会を作る。 ・送迎時には簡単な言葉で利用者様の様子を伝え、短時間でもコミュニケーションを継続していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月～令和3年10月
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	工藤・一戸・對馬・沓澤・山田・三上・今井 阿部・大場・三浦・郷木・長尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	3人	7人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・時間不足、人手不足を補うため、職員一人一人の業務に対する優先順位や利用者に対する対応、意見交換、勉強会の開催を通しスキルアップ向上を図る。 ・情報共有の際は、各自分担し書面に記録し確実に共有し再確認できる状態にしていく。時間に限りがある為、確実性のある共有の仕方をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の優先順位は状況によって異なる為、柔軟に対応出来なかった事もあった。意見交換や勉強会は定期的実施出来た。 ・情報共有への取り組みは実施されていたが、不十分だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	1	9	2	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	6	0	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	7	3	1	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	0	6	5	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じたサービスの展開が出来ていた。 ・書面に記録することで共有、再確認が出来ていた。本人の状態を理解する事で宿泊や通い、訪問が出来た。 ・業務に優先順位をつけ、対応している。 ・余裕がある際は、他職員のフォローに入り、業務全体が回るよう努めた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な支援の対応を行う為の指示決定者が不在であった為、即時対応が困難な場合もあった。 ・優先順位を間違える事があった。 ・コロナ禍の為、地域資源を利用しづらかった。 ・他職員のフォローに入る事で、自分の業務が差し支えてしまう事があった。 ・余裕がなく、スキルアップで出来ていなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・業務の流れを再確認し、優先順位のつけ方を把握する。 ・地域資源の活用方法を検討する勉強会を設ける。 ・情報共有の精度向上の為、引き続き書面に記録し再確認する事を継続していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月～令和3年10月
6. 連携・協働	メンバー	工藤・一戸・對馬・沓澤・山田・三上・今井 阿部・大場・三浦・郷木・長尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	3人	6人	2人	12人

前回の改善計画	<p>・その他のサービス機関や地域の関係機関の働きを知り、どのような繋がり、どのように支援されているか理解する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・コロナ禍の影響もあり、その他のサービス機関や地域の関係機関との関わりは一部の職員に限られていた。その為、身近に感じる事が少なく、職員全体の関心が薄れていた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	4	4	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加しています参加していますか？	1	3	3	5	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	3	8	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	0	11	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練の際は、消防との連携が取れており実施出来ていた。 ・特定の職員は会議へ参加し、情報収集が出来ていた ・在宅での生活が困難になった際は、担当のケアマネージャーが他施設や医療機関、他サービス機関と連携を取りながら対応していた。またケアマネージャーは包括主体の会議に参加出来ていた。 ・看護師として医療機関と必要時連絡、相談を行い利用者様へ対応した。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・その他のサービス機関や地域資源との関わりがなく、分からない。 ・コロナ禍であり関係機関の会議やイベントの開催自体が少なく、又参加する職員は感染予防の為、限られていた。 ・外部会議は有資格者限定が多く、一部の職員のみ参加であった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の鎮静化の伴い、外部との接触が徐々に増える事を見越し、今一度各サービス機関の役割や事業所との関わりを理解していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月～令和3年10月
7. 運営	メンバー	工藤・一戸・對馬・沓澤・山田・三上・今井 阿部・大場・三浦・郷木・長尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	6人	4人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 意見、苦情等の問題解決にあたって全職員で問題を共有し、長期的な解決を目指した改善案を挙げて取り組む。 小さなトラブルも軽視せず、正直に報告、共有することで問題の肥大化を防ぐとともに、職員一人一人が適切な判断、真摯な対応ができるよう行動に責任を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 問題が発生した際は書面や申し送りで周知出来ていたが、似たような問題が多数発生しており、改善が滞っていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか？	0	8	2	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	5	4	2	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	4	6	2	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	2	7	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 本人や家族からの意見や苦情は素直に聞き、次に同じ事が起きないように心掛けていた。 苦情対応の窓口も設置されており、苦情や意見を伺えるよう玄関へ回収箱を設置している。 苦情があった際は、申し送りで周知されていた。 利用者様から聞いた話は、申し送りやミーティングで発言している。又上司へ提言した。 トラブルの背景にあるものを見出だし、根本的に解決出来る対策を考えた。 ホームページを活用し、情報を公表した。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 分からない事が多く、積極的に関わる事は出来なかった。 コロナ禍により地域と関わる事が殆どない為、分からない。 介護技術不足や情報の確認不足の為、意見や苦情に対する対応し改善するが、一時的で時間の経過と共に同じ苦情が発生していた。 事前に伝えなくてはいけない情報を後回しにしてしまい、問題が発生する事が多かった。 コロナ禍による制限があった為、地域と協働した取組みは出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 事前の準備、情報共有の見直しを行い、苦情が起きないように業務にあたる。 苦情が発生した際は真摯に向き合い、利用者様やご家族様との信頼回復に努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月～令和3年10月
8. 質を向上するための取組み	メンバー	工藤・一戸・對馬・沓澤・山田・三上・今井 阿部・大場・三浦・郷木・長尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	7人	3人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の代わりに事業所内での勉強会や研修を例年以上に設け、スキル向上に繋げる。短時間で現状の課題解決に沿った内容で全体に周知できる方法で行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に比べ、研修や勉強会の回数を増やす事が出来た。 短時間で現状分析を行い、改善策を全体に周知、共有する事は徹底出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加しますか？	3	6	3	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	2	5	1	4	12
③	地域連絡会に参加していますか？	0	3	3	6	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか？	3	3	4	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自己研修の時間を設け、学ぶ機会を持つ事が出来た。 コロナ禍の制限はあったが、運営推進会議にて地域の実情を得る事が出来た。 外部研修、法人内研修、事業所内勉強会は実施、参加出来ていた。 オンラインや動画を利用、活用した研修により、昨年より研修や勉強会を実施出来ていた。 ヒヤリハットやリスクマネジメントの記録を積極的に残し、大きな事故を未然に防ぐように努めた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響の為、地域、社協、民生委員連絡会には参加出来なかった。 研修や勉強会の時間確保が難しく、業務に支障をきたす事が多かった。 リスクマネジメントを総括する職員がいない為、振り返りが出来なかった。また総括を行う余裕がない。 外部研修は一部の職員の参加に限られていた為、参加出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 業務時間内で研修や勉強会が出来るよう、計画的に実施する。 ヒヤリハット、リスクマネジメントが一過性にならないよう総括や振り返りの実施を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月～令和3年10月
9. 人権・プライバシー	メンバー	工藤・一戸・對馬・沓澤・山田・三上・今井 阿部・大場・三浦・郷木・長尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人	5人	3人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇、プライバシー、介護職員としての使命等についての事業所内研修を行う。 ・ 自分の言動に責任を持ち、常に傍に第三者がいる意識を持って対応にあたる。 ・ アンガーマネジメントの勉強会を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修を実施し、職員が学習する時間を設ける事が出来た。また各職員が自分の言動に責任を持つ意識が生まれた。 ・ アンガーマネジメントの勉強会はまだ実施出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	3	1	1	12
②	虐待は行われていない	8	1	2	1	12
③	プライバシーが守られている	3	8	0	1	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	2	7	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	6	1	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修により、接遇や身体拘束、虐待防止を学習し、現場へ反映出来ている。 ・ 人権やプライバシーについては勉強会の他、プライバシーの侵害になる恐れを予想し、都度言語化した。 ・ 些細な事でも、利用者様の個人情報は言わないように出来た。 ・ 自分の言動に責任を持って業務にあたった。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 雑用紙を使用した際、裏面を確認せずに利用者様へ渡してしまい、個人情報がないか怠った事があった。 ・ 成年後見制度利用に該当する利用者様がいなかった為、活用は出来なかった。 ・ 個人の業務に追われ、余裕が持てなかった。アンガーマネジメントは実践出来なかった。 ・ スピーチロックや無視に近い対応をしてしまった事があった。 ・ 自分の接遇に自信が無く、他職員の不適切なケアに対し、注意や助言が出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者様主体の介護を行う。 ・ 継続的に勉強会を実施し、身体拘束や虐待、プライバシーの保護に対する意識を向上させる。 ・ アンガーマネジメントの勉強会を実施する。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人一葉会	代表者	理事長 長尾 春夫	法人・事業所の特徴	法人の基本理念「人は組織をつくり、組織は人をつくる」に基づき、当事業所では「私達は人権を守ります」「私達は思いに寄り添います」を理念に掲げ、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、通い、訪問、宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、24時間を通して地域での暮らしの支援に努めます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 たんぼぼの丘	管理者	工藤 比查子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	5 人	0 人	0 人	1 人	1 人	0 人	0 人	7 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	確実な方法で継続的に情報の共有が出来るよう、情報共有の方法の見直しをする。	情報共有の見直しを繰り返し行い、精度を向上させたが、今だ徹底されていない。	地域住民・団体や他事業所を招いての会議は、新型コロナウイルス蔓延防止の観点から開催中止となった為、資料配布時に説明を行い、その中で個々に意見交換を行った。サービス評価の協力は頂けたものの交流機会が少なかった為、「分からない」との意見も聞かれた。	情報を精査し、簡潔かつ正確に情報共有する。
B. 事業所のしつらえ・環境	まずは利用者に更に寄り添う対応を目指す。利用者や家族との対話を重ね、「その人にとって1番良い方法」を見出すことで安心・安全・満足に繋げる。	利用者や家族からは概ね満足しているとあったが、一部では事業所の不手際や理解の行き違いでの不満の声があがった。コロナ禍において事業所内の清潔保持を徹底した。		地域に根差した事業所となる為、情報の発信を行う。また全ての利用者や家族が満足出来るよう、丁寧な対話を続け、要望に答える。コロナ禍における環境の整備を徹底する。
C. 事業所と地域のかかわり	現在交流計画の目途が立っていない。滞っている間に、職員ひとりひとりが事業所の役割等を説明できるよう情報の把握に努める。自宅生活の継続を意識しながら取り組む。	コロナ禍の為、地域との交流の機会を設ける事ができなかった。		コロナ禍の終息時に、地域との交流がスムーズに行えるよう、引き続き職員が事業所の特性を理解し説明出来るようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域とのつながりを維持できるよう、利用者様が地域に出向ける環境づくりに継続して努める。自宅生活の継続を意識しながら取り組む。	コロナ禍においても、地域との繋がりが途切れない様、利用者一人一人のニーズを元にしたサービスの提供を行った。		コロナ禍においても、安全に地域での生活が出来る選択肢を考え、サービスの提供を行う。
E. 運営推進会議を生かした取組み	ひきつづき地域の方々との情報交換や支援について検討する場として運営推進会議を活用していく。	昨年度に引き続き、地域の方々を招いての会議を開催できず、今年度も殆ど情報交換等が出来なかった。		状況に応じて運営会議の適宜開催を検討し、情報交換の場を設ける。
F. 事業所の防災・災害対策	毎月一回避難訓練や夜間想定に加え地震想定避難訓練を継続して実施する。また災害時マニュアルに沿った訓練を行う。	定められた計画通り訓練を実施できた。実際の災害時にも柔軟に対応できるよう様々な想定で訓練を行った。		避難訓練の実施は計画通りに実施する事が出来た。自然災害時における、事業所の備蓄の見直しを行っていく。管内設備も定期的に点検を行っていく。